

**特集 1** COP21における合意「パリ協定」とJCMの広報活動

**特集 2** JCM新パートナー国：タイ

**特集 3** 日本でJCM登録簿の運用が開始し、JCMクレジットが取引可能に

**特集 4** COP21ジャパン・パビリオン

イベントレポート JCMワークショップ、JCM公開セミナー「JCMを活用した温暖化対策プロジェクトの実例」

新メカプラットフォームウェブサイト 更新情報

## 特集 1 COP21における合意「パリ協定」とJCMの広報活動

### COP21において「パリ協定」が採択されました

2015年11月30日～12月13日まで、フランス・パリにおいて国連気候変動枠組条約第21回締約国会議 (COP21)、京都議定書第11回締約国会合 (CMP11) 等が行われました。12月12日、史上初めてすべての締約国 (196か国・地域) が参加する枠組みとして、パリ協定 (Paris Agreement) が採択されました。2020年以降の法的枠組みとなるパリ協定には以下の項目が含まれています。

- 世界共通の長期目標として2°C目標のみならず1.5°Cへの言及
- 主要排出国を含むすべての国が削減目標を5年ごとに提出・更新すること、共通かつ柔軟な方法でその実施状況を報告し、レビューを受けること
- 二国間クレジット制度 (JCM) を含む市場メカニズムの活用が位置づけられたこと: 第6条において「海外で実現した緩和成果 (internationally transferred mitigation outcomes: ITMO) を自国の排出削減目標の達成に活用できる」と規定

日本はパリ協定に基づき、2020年以降もJCMを通じて獲得した排出削減・吸収量を我が国の削減として適切にカウントしていきます。また、今後、パリ協定締約国会議 (CMA) において、ダブルカウント防止等を含む堅固なアカウンティングのためのガイダンスの作成に貢献していきます。



COP21 パリ委員会にて発言する丸川環境大臣



### 第3回JCMパートナー国会合を開催しました

12月9日 (現地時間8日)、COP21のジャパン・パビリオンにおいて環境省主催により「第3回JCMパートナー国会合」(写真左) が開催されました。本会合には、丸川珠代環境大臣とJCMのパートナー国 (16か国) の代表者が出席し、JCMの進捗を歓迎し、引き続き協力してJCMを実施していくこと等が表明されました。

丸川大臣による挨拶文や出席者一覧は、新メカニズム情報プラットフォームウェブサイトからご覧ください。

[http://www.mmechanisms.org/document/151208\\_JCMmeeting.pdf](http://www.mmechanisms.org/document/151208_JCMmeeting.pdf)

### UNFCCC公式サイドイベント: 「JCMプロジェクト実施に係る進捗と成果 (The JCM: Achievements and current progress of project implementations)」

12月11日、環境省、(公財)地球環境センター (GEC) 及び(一社)海外環境協力センター (OECC) は共同で標題のサイドイベント (写真右) を開催し、約50名の各国政府関係者や専門家の参加を得ました。JCM パートナー国であるインドネシアからパネリストを迎え、環境省、(独法)国際協力機構 (JICA)、OECC、GECからの参加者と共にJCM 実施に係る進捗や期待について議論されました。質疑応答の時間では、JCMに期待を寄せる途上国、JCMを研究する欧米シンクタンクや学生といった幅広い層から質問が寄せられ、参加者と活発な意見交換がなされました。









日本政府はCOP21会場内に「ジャパン・パビリオン」と題するイベントスペース(写真左)を設置し、日本政府、各種機関・組織の取組や研究成果を、展示や各種イベントを通じて発信し、参加者同士が対話や交流を深めながら低炭素かつ気候変動に強靱な(レジリエントな)社会への転換を考える機会を提供しました。「都市」「技術」「森林」「政策」の各テーマから構成されるサイドイベントが合計で32本開催され、気候変動対策に関する日本の貢献が紹介されました。

12月8日は「JCM Day」と銘打ち、先述の「第3回JCMパートナー国会合」に加えて、東南アジア諸国におけるJCMの取組や、アジア開発銀行(ADB)に創設されたJCM日本基金により資金支援が決定したプロジェクトとしてモルディブ及びモンゴルにおける事例を紹介するイベント等が開催されました。また、12月2日は「都市Day」として、JCM都市間連携案件形成可能性調査の進捗を報告するイベントが多数開催されました。

サイドイベントのサマリーレポートは、ジャパン・パビリオンウェブサイトからご覧ください。

<http://cop21-japanpavilion.jp/>

## ■ ジャパン・パビリオン・サイドイベント:「先進的技術を活用した気候変動対策: JCMスキームの活用とJCMプロジェクトの開発 (Advanced Technologies to Tackle Climate Change: Application of the JCM and Project Development)」

12月7日、GEC、(公社)関西経済連合会、OECCは共同で標題のサイドイベント(写真右)を開催し、約30名の各国政府関係者や専門家の参加を得ました。関西を中心とした民間事業者が有する先進的な技術の紹介と、JCMを活用した先進技術のベトナム等への海外普及展開、JCMプロジェクトとしてのMRV(方法論適用)によるクレジット化について紹介・議論しました。また、JCMに係る頻出の質問に対して、新メカニズム情報プラットフォーム事務局より最新情報を提供しました。



### キーメッセージ

- JCMは当初の目標である16か国との署名を前倒しで達成した。日本政府は、JCMを通じて2030年までに5,000万~1億t-CO<sub>2</sub>の削減を達成することを見込んでおり、今後はプロジェクトを開発し排出削減につなげることが一層重要となる。
- 優れた低炭素技術の普及を進め世界全体の低炭素化を進めるためには、技術を持つ民間企業との協業が不可欠である。
- ベトナム国においては初となるJCMプロジェクトが2015年に登録された。今後は更に多くのJCMプロジェクトが実施されクレジットが発行されることが期待される。

## 新メカニズム情報プラットフォームウェブサイト

## 更新情報

### 「JCM支援事業・調査採択案件一覧」データベース

下記情報を追加した他、その他情報を更新しました。

- 環境省によるJCM設備補助事業二次公募の採択案件
- 経済産業省・NEDOによるJCM実証事業等の採択案件
- 過去の採択案件の報告書へのリンク

<http://www.mmechanisms.org/support/adoption.html>



### COP21サイドイベント・ブース報告

COP21サイドイベント開催報告及びブース出展報告:

[http://www.mmechanisms.org/info/event/details\\_151211COP21sideevent.html](http://www.mmechanisms.org/info/event/details_151211COP21sideevent.html)

COP21で開催されたイベントの傍聴報告:

[http://www.mmechanisms.org/info/event/details\\_oecc\\_COP21report.html](http://www.mmechanisms.org/info/event/details_oecc_COP21report.html)



【発行元】



### 一般社団法人 海外環境協力センター

〒105-0003 東京都港区西新橋3-25-33 NP御成門ビル3階

T E L : 03-5472-0144 FAX:03-5472-0145

Email: [info@mmechanisms.org](mailto:info@mmechanisms.org)

Website: <http://www.mmechanisms.org>

環境省平成27年度国際的な地球温暖化対策における市場メカニズムの活用に関する情報収集・提供事業委託業務により作成



古紙/パルプ配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。